

新しい大学院生に贈る言葉

研究科長 宮永 喜一

みなさま、ご入学おめでとうございます。

今年は、173名の新修士の学生さんと、34名の新博士後期課程の学生さんが入学しました。現在、我々情報科学研究科には、600名程度の学生が所属しておりますので、その一員として、皆様に加わったということで、大変喜んでおります。

現在の情報科学研究科は、「情報理工学専攻」、「情報エレクトロニクス専攻」、「生命人間情報科学専攻」、「メディアネットワーク専攻」、「システム情報科学専攻」の5専攻構成で、88名の教授・准教授・助教の先生方で教育を担当しています。

実はその他に、関連の学内機関としては、量子集積エレクトロニクス研究センター、電子科学研究所、情報基盤センターが本研究科の協力講座として、教育研究のサポートをしてくれています。さらに、国立研究開発法人物質・材料研究機構、日本電信電話株式会社、エヌ・ティー・ティー・ドコモ、日立製作所、宇宙航空研究開発機構、産業技術総合研究所などの、政府系研究所や民間研究所からも、連携講座の教員としてご支援いただき、本研究科の教育・研究を担当していただいております。

皆さんの中には、北大の学部を卒業して、そのまま大学院に進学している人が多いと思います。一方で、他大学や国外から、あるいは企業に在籍をしたままで入学されている皆様もここにおります。

そこで、現在北大全体が進められているスーパーグローバルユニバーシティ、通称SGUのお話をさせていただきます。時々新聞紙上などでは、北大が、SGUのType A型に採用され、世界大学ランキングトップ100を目指す力のある、世界レベルの教育・研究を行うトップ大学として認められ、その実現に向かって事業を進めているという話題が挙げられています。「世界大学ランキングトップ100」を目指すというのは、数値目標があってわかりやすく、マスコミ受けしそうな話題ですので、そのように取りざたされているようです。

しかし、皆さんの目線から見た時のこの事業とは何かを紹介したいと思います。1つ目は、NITOBE教育システムです。この中で、NITOBEスクールという教育プログラムがあります。情報科学研究科の大学院の学生として所属しながら、別の教育プログラムを学ぶことのできるものです。ここでは、英語教育から、海外留学・インターンシップなど、国際性の涵養を目指した教育が進められています。

2つ目は、異分野連携ならびに海外のトップ大学との連携による国際大学院群の新設です。実は、本日4月1日より、情報科学関連の国際連携研究教育局 (GI-CoRE) というのが発足します。具体的には、アメリカのマサチューセッツ大学の情報・計算機科学の複数研究室と我々情報科学関係、医学関係の先生との国際共同

研究が組織的に始まります。もしかしたら、博士後期課程の学生さんには、すぐにも、その国際共同研究のメンバーとしてのオファーがあるかもしれません。

3つ目は、海外の大学と連携して、国外において北海道大学の授業を開講するラーニング・サテライトです。これは、皆さんが海外の大学に訪問し、北大の講義をそこで受け、同時に先方の大学の講義を取り、修了要件の単位を取得することです。4つ目は、世界から北大キャンパスに集まる学生を教育するサマー・インスティテュートです。これは、今年から始まる4学期制のうち、主に夏タームに実施される、国際大学院の科目です。海外の学生さんとともに英語の専門科目を北大キャンパスで学ぶこととなります。3つ目と4つ目は、現在情報科学関係の科目を準備中であり、本格的な運用は来年度以降になりますが、他の学部、例えば工学院などは一部運用が始まります。どのような科目が並んでいるのか、興味があったら見てみてください。

このように、大学全体を挙げて教育や研究の国際化、グローバル化が進められています。特に、先ほど紹介した情報系のGI-CoREは、ビッグデータ・サイバーセキュリティに関するGI-stationを創設するというので、すでに国内外で注目されており、そこから得られる成果は、今後、ここにいるすべての学生さんの研究活動に対して良い影響を与えるものと思っています。

北海道大学の基本理念は、「パイオニア精神 Frontier Spirit」、「国際性の涵養 Global Perspectives」、「全人教育 All-round Education」、「実学の重視 Practical Learning」です。先ほど述べましたSGUは、それらの理念を具体化した1つのプログラムです。このように様々な機会をうまく活用していただいて、皆さんの研究活動の中で、情報科学の分野におけるイノベーションを引き起こしていただければと思います。

最後になりましたが、有意義な大学院での研究生活を楽しんでくれるよう、心から祈っております。本日は、誠にありがとうございます。



研究科長挨拶

[左列]5専攻長、[右列]両副研究科長、工学系事務部長

(本記事は、4月1日に举行された情報科学研究科入学式での研究科長挨拶に基づき、新規に書き下ろしたものです。)

産業技術フォーラム2016を開催しました

3月2日(水)から3月7日(月)までの平日4日間にわたり、情報科学研究科棟2階会場において「産業技術フォーラム2016」を開催しました。

12回目を迎える今回のフォーラムには幅広い分野から105社の参加があり、開催期間中の延べ参加学生数は約2110名となりました。また、開催期間中は天候にも恵まれ、無事すべてのプログラムを終えることができました。

各社15分間の講演会とそれに引き続いて35分間の交流会が行われ、入社後活躍できる場の説明や、研究内容や技術開発などにおける現場の様子、技術者・研究開発者として働くことの楽しさや厳しさ、やりがいなどの経験談など、参加学生は多くの貴重な情報を得る場を持つことができました。またこのフォーラムを通じ、学生は職業意識を高め、自らの将来の進路をしっかりと考えることができました。

(進学・就職支援室長 金井 理)

平成27年度北海道大学情報科学研究科 「研究科長賞」授与式挙行

情報科学研究科では、研究科学生への顕彰制度として北海道大学情報科学研究科「研究科長賞」を設けています。

第四回となる研究科長賞の授賞式は3月24日(木)情報科学研究科棟5階中会議室にて開催され、宮永情報科学研究科長により研究科長賞が授与されました。

この度の「研究科長賞」授与者は、修士課程5名、博士後期課程6名でした。

また、情報理工学専攻では「電子情報通信学会北海道支部賞」、生命人間情報科学専攻では「三上奨学賞」、「吉本千禎先生記念賞」、情報理工学専攻、システム情報科学専攻では「精密工学会北海道支部学生奨励賞」が贈呈されました。



【研究科長賞】

情報理工学専攻修士課程	鈴木 浩 史
情報エレクトロニクス専攻修士課程	宮 川 拓 望
生命人間情報科学専攻修士課程	藤 井 裕 紀
メディアネットワーク専攻修士課程	佐 藤 孝 憲
システム情報科学専攻修士課程	下 谷 俊 人
複合情報学専攻博士後期課程	段 磊
コンピュータサイエンス専攻博士後期課程	和 佐 州 洋
情報エレクトロニクス専攻博士後期課程	シンシア ジャナム モウ
生命人間情報科学専攻博士後期課程	杉 原 俊 一
メディアネットワーク専攻博士後期課程	牧 野 俊 太郎
システム情報科学専攻博士後期課程	松 崎 達 也

【電子情報通信学会北海道支部賞】

情報理工学専攻修士課程	中 村 将 成
-------------	---------

【三上奨学賞】

生命人間情報科学専攻修士課程	遠 藤 賢 司
----------------	---------

【吉本千禎先生 記念賞】

生命人間情報科学専攻 博士後期課程	ゴンザレス フェンテス ガブリエル アルマンド
----------------------	-------------------------

【精密工学会北海道支部学生奨励賞】

情報理工学専攻修士課程	高 田 圭
システム情報科学専攻修士課程	森 拓 也

平成28年度大学院入学者数

平成28年度北海道大学大学院情報科学研究科専攻別入学者数は次の表のとおりです。

平成28年度専攻別入学者数

専 攻	定員	入学者数
情報理工学	48	41 [2]
	12	7 [2]
情報エレクトロニクス	39	41 [3]
	8	6 [2] ②
生命人間情報科学	33	26
	6	3
メディアネットワーク	30	31 [1]
	8	9 [2] ④
システム情報科学	27	34 [4]
	8	9 [2] ③
計	177	173 [10]
	42	34 [8] ⑨

・ 上段：修士課程、下段：博士後期課程

・ []：留学生（内数）

・ 丸囲み数字：社会人入試（内数）

平成28年度情報科学研究科専攻長・各種委員会委員等一覧

●専攻長・副専攻長

専攻等	専攻長 (任期：1年)	副専攻長 (任期：1年)
情報理工学専攻	湊 真一	山本雅人
複合情報学専攻	栗原正仁	山本雅人
コンピュータサイエンス専攻	工藤峰一	湊 真一
情報エレクトロニクス専攻	富田章久	高橋庸夫
生命人間情報科学専攻	平田 拓	渡邊日出海
メディアネットワーク専攻	齊藤晋聖	坂本雄児
システム情報科学専攻	山下 裕	金井 理

●運営会議等

専攻等	運営会議 (任期なし)	専攻長会議 (職指定)	コース長会議 (職指定)
研究科長(副工学部長)	宮 永 喜 一	宮 永 喜 一	宮 永 喜 一
副 研 究 科 長	村 山 明 宏 今 井 英 幸	村 山 明 宏 今 井 英 幸	村 山 明 宏 今 井 英 幸
情報理工学専攻	/	湊 真一 山本雅人	湊 真一 山本雅人
複合情報学専攻	/	栗原正仁 山本雅人	栗原正仁 山本雅人
コンピュータサイエンス専攻	/	工藤峰一 湊 真一	工藤峰一 湊 真一
情報エレクトロニクス専攻	/	富田章久 高橋庸夫	富田章久 高橋庸夫
生命人間情報科学専攻	/	平田 拓 渡邊日出海	平田 拓 渡邊日出海
メディアネットワーク専攻	/	齊藤晋聖 坂本雄児	齊藤晋聖 坂本雄児
システム情報科学専攻	/	山下 裕 金井 理	山下 裕 金井 理
1年クラス担任代表	/	/	平田 拓
2年クラス担任代表	/	/	富田章久
事務部長	多谷 司	/	/

平成28年度情報科学研究科専攻長・各種委員会委員等一覧

●常置委員会

○委員長

専攻等	将来構想委員会 (職指定)	評価委員会 (任期：1年)	学務委員会 (任期：2年)	学術委員会 (任期：2年)
研 究 科 長	○宮 永 喜 一	○宮 永 喜 一	/	/
副 研 究 科 長	村 山 明 宏 今 井 英 幸	村 山 明 宏 今 井 英 幸	○今 井 英 幸	○村 山 明 宏
情報理工学専攻	湊 真 一 山 本 雅 人	原 口 誠	小 野 哲 雄	田 中 章
複合情報学専攻	/	/	小 野 哲 雄	/
コンピュータサイエンス 専 攻	/	/	田 中 章	/
情報エレクトロニクス 専 攻	富 田 章 久 高 橋 庸 夫	本 久 順 一	本 村 真 人	末 岡 和 久
生命人間情報科学 専 攻	平 田 拓 渡 邊 日出海	岡 嶋 孝 治	舘 野 高	舘 野 高
メディアネットワーク 専 攻	齊 藤 晋 聖 坂 本 雄 児	山 本 強	大 鐘 武 雄	長谷山 美 紀
システム情報科学 専 攻	山 下 裕 金 井 理	金 子 俊 一	小野里 雅 彦	五十嵐 一
教 育 企 画 室	/	/	小野里 雅 彦	五十嵐 一
研 究 企 画 室	/	/	/	飯 塚 博 幸
事 務 部 長	多 谷 司	多 谷 司	/	/
事 務 課 長	杉 山 淳 一	/	杉 山 淳 一	杉 山 淳 一

平成28年度情報科学研究科専攻長・各種委員会委員等一覧

●室

○室長

専攻等	研究企画室 (任期：2年)	教育企画室 (任期：2年)	広報・情報室 (任期：2年)	進学・就職支援室 (任期：1年)	FD推進室 (任期：2年)	国際交流推進室 (任期：2年)	安全衛生管理室 (任期：2年)
研究科長	/	/	/	/	/	/	/
副研究科長	○村山明宏	○今井英幸	○村山明宏	/	○村山明英 今井宏幸	○今村山英明 幸宏	/
情報理工学専攻	中村篤祥	飯塚博幸	瀧川一学	山本雅人	川村秀憲	中飯村塚博幸 祥幸	/
複合情報学専攻	小山聡	飯塚博幸	/	/	/	/	/
コンピュータサイエンス専攻	中村篤祥	吉岡真治	/	/	/	/	/
情報工レレクトロニクス専攻	岡本淳	菅原広剛	古賀貴亮	高橋庸夫	本久順一	岡菅本原広 淳剛	有田正志
生命人間情報科学専攻	小柳香奈子	工藤信樹	工藤信樹	渡邊日出海	長田直樹	小工藤柳香奈子 信樹	西川淳
メディアネットワーク専攻	土橋宜典	筒井弘	山本学	坂本雄児	伊藤敏彦	土筒橋宜典 弘	/
システム情報科学専攻	五十嵐一	小野里雅彦	竹本真紹	○金井理	北裕幸	五十嵐小野里 雅彦	/
事務課長	杉山淳一	杉山淳一	杉山淳一	杉山淳一	杉山淳一	杉山淳一	杉山淳一

●工学部委員会委員情報エレクトロニクス学科

所 属	コース長 (任期：1年)	教務委員会 (任期：1年)	学生委員会 (任期：1年)	入試委員会 (任期：1年)	評価委員会 (任期：1年)
副 工 学 部 長	宮 永 喜 一				宮 永 喜 一
全 学 教 務 委 員 会	今 井 英 幸	今 井 英 幸	今 井 英 幸	今 井 英 幸	今 井 英 幸
情 報 理 工 学 コ ー ス	湊 真 一	小 山 聡	杉 本 雅 則	湊 真 一	原 口 誠
情 報 工 学 コ ー ス	栗 原 正 仁				
コ ン ピ ュ ー タ サ イ エ ン ス コ ー ス	工 藤 峰 一				
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	富 田 章 久	池 辺 将 之	池 辺 将 之	富 田 章 久	本 久 順 一
生 体 情 報 コ ー ス	平 田 拓	松 元 慎 吾	西 川 淳	平 田 拓	岡 嶋 孝 治
メ デ ィ ア ネ ッ ト ワ ー ク コ ー ス	齊 藤 晋 聖	藤 澤 剛	伊 藤 敏 彦	齊 藤 晋 聖	山 本 強
電 気 制 御 シ ス テ ム コ ー ス	山 下 裕	小 笠 原 悟 司	金 井 理	山 下 裕	近 野 敦

●工学部入試広報室

情報エレクトロニクス学科 (任期：2年)	喜 田 拓 也	有 田 正 志	松 元 慎 吾
	藤 澤 剛	原 亮 一	

●工学部 学科長・副学科長

学科	学科長 (任期：1年)	副学科長 (任期：1年)
情報エレクトロニクス学科	山 下 裕	山 本 雅 人

●工学部将来構想委員会委員 (情報科学研究科分)

副工学部長	宮 永 喜 一
全学教務委員会委員 (情)	今 井 英 幸
学科長 (任期：1年)	山 下 裕

●全学教育「情報学」科目企画責任者

科目企画責任者 (任期：2年)	遠 藤 俊 徳
--------------------	---------

【人事異動】

[教授]

(任期) 平成28年4月1日～平成30年3月31日	
宮 永 喜 一	研究科長
村 山 明 宏	副研究科長(総務・研究担当)
今 井 英 幸	副研究科長(教育担当)
(異動) 平成28年4月1日	
本 久 順 一	情報エレクトロニクス専攻 集積システム講座集積電子デバイス研究室 (同講座集積ナノシステム研究室より)
(昇任) 平成28年4月1日	
田 中 章	情報理工学専攻 数理科学講座(同講座准教授より)
浅 井 哲 也	情報エレクトロニクス専攻 集積システム講座集積ナノシステム研究室 (同講座集積アーキテクチャー研究室准教授より)
植 村 哲 也	情報エレクトロニクス専攻 先端エレクトロニクス講座(同講座准教授より)

[准教授]

(辞職) 平成28年3月31日	
村 井 哲 也	情報理工学専攻 数理科学講座

[助教]

(辞職) 平成28年3月31日	
佐 藤 晴 彦	情報理工学専攻 複合情報工学講座
吉 川 毅	情報理工学専攻 数理科学講座
(採用) 平成28年4月1日	
折 川 幸 司	システム情報科学専攻 システム融合学講座(新規採用)
(異動) 平成28年4月1日	
富 岡 克 広	情報エレクトロニクス専攻 集積システム講座集積電子デバイス研究室 (同講座集積ナノシステム研究室より)

[特任教授]

(任期満了退職) 平成28年3月31日	
福 井 孝 志	情報エレクトロニクス専攻 集積システム講座
山 本 眞 史	情報エレクトロニクス専攻 先端エレクトロニクス講座
清 水 孝 一	生命人間情報科学専攻 バイオエンジニアリング講座
(採用) 平成28年4月1日	
佐 野 栄 一	情報エレクトロニクス専攻 (協) 量子情報エレクトロニクス講座 (同講座より)

[特任准教授]

(任期満了退職) 平成28年3月31日	
安 田 宜 仁	情報理工学専攻 知識ソフトウェア科学講座

[特任助教]

(辞職) 平成28年2月16日	
Chen Shula	情報エレクトロニクス専攻 集積システム講座
(採用) 平成28年4月1日	
石 川 志 保	システム情報科学専攻 システム融合学講座(新規採用)
石 島 正 和	情報理工学専攻 知識ソフトウェア科学講座(新規採用)
田 中 英 一	システム情報科学専攻 システム融合学講座(同講座研究室より)

【客員教授】

(任期満了退職) 平成28年3月31日	
鷲 尾 隆	情報理工学専攻 (連) 大規模離散計算科学講座
白 井 康 之	情報理工学専攻 (連) 大規模離散計算科学講座
津 田 宏 治	情報理工学専攻 (連) 大規模離散計算科学講座
大 和 淳 司	メディアネットワーク専攻 (連) ユビキタスネットワーク学講座
(採用) 平成28年4月1日	
平 松 薫	メディアネットワーク専攻 (連) ユビキタスネットワーク学講座

[事務職員等]

(転出) 平成28年3月31日	
戸 出 成 記	会計担当主任(経理課用度担当主任へ)
岡 嶋 正 育	教務担当主任(教務課工学系教育研究センター担当主任へ)
北 村 雅 子	情報科学研究科図書担当(附属図書館利用支援課へ)
(転入) 平成28年4月1日	
石 森 久 美	情報科学研究科図書担当(医学部図書担当より)
(採用) 平成28年4月1日	
宇 野 樹 矢	会計担当(新規採用)
中 島 百 恵	教務担当(新規採用)

[技術職員]

(辞職) 平成28年3月31日	
高 田 健 治	量子集積エレクトロニクス研究センター技術専門職員
(採用) 平成28年4月1日	
李 家 康	情報エレクトロニクス学科電気制御システムコース(新規採用)
長 倉 清 剛	量子集積エレクトロニクス研究センター嘱託職員(経理課営繕担当係長より)

【受賞等】

[教員]

2015年11月13日	富岡 克広
情報エレクトロニクス専攻 集積システム講座 集積ナノシステム研究室 助教	
一般財団法人エヌエフ基金 研究開発奨励賞優秀賞「次世代低消費電力スイッチ素子の創成へ向けた化合物半導体ナノワイヤの研究」	
2015年12月18日	齊藤 晋聖
メディアネットワーク専攻 情報通信システム学講座 情報通信フォトニクス研究室 教授	
独立行政法人日本学術振興会 第12回日本学術振興会賞「微細構造光ファイバの高度設計・利用技術に関する研究」	
2015年11月25日	富岡 克広
情報エレクトロニクス専攻 集積システム講座 集積ナノシステム研究室 助教	
一般財団法人電気通信工学振興会・東北大学電気通信研究所 第5回RIEC Award「半導体ナノワイヤ集積技術とトランジスタ応用に関する研究」	

[学生]

2015年7月21日	和佐 州洋 ¹⁾ 、有村 博紀 ²⁾ (他1名)
1)情報理工学専攻 知識ソフトウェア科学講座 情報知識ネットワーク研究室 D3、2)同専攻教授	
第148回アルゴリズム研究会 2015年度コンピュータサイエンス領域奨励賞「K-縮退グラフに含まれる誘導木の列挙」	
2015年9月26日	三輪 英
生命人間情報科学専攻 バイオエンジニアリング講座 人間情報工学研究室 M1	
一般社団法人日本超音波医学会 北海道地方会運営委員会 日本超音波医学会第45回北海道地方会優秀演題賞「ARFIイメージングに用いられる超音波が心筋細胞に与える損傷の発生メカニズム」	

2015年10月3日	今野 陽子 ¹⁾ 、椋田 健斗 ²⁾ 、川村 秀憲 ³⁾	
1)情報理工学専攻 複合情報工学講座 調和系工学研究室 専門研究員、2)同専攻 M2、3)同専攻教授		
一般社団法人情報処理学会北海道支部 情報処理北海道シンポジウム2015 技術研究賞「北海道のコージェネレーション活用に向けた電力需要予測」		
2015年10月12日	日高 勇気	
システム情報科学専攻 システム融合学講座 電磁工学研究室 D1		
一般社団法人日本シミュレーション学会 Outstanding Presentation Award「Optimization of Synchronous Reluctance Motors Considering Uncertainties in Magnetic Property (磁気特性の不確定性を考慮した同期リラクタンスモーターの最適化)」		
2015年11月11日	以下の賞を4名が受賞	
The 16th RIES-Hokudai international symposium 2015		
優秀 ポスター賞	鈴木 雄喜 生命人間情報科学専攻 先端生命機能工学講座 M1 「All-solid-state non-volatile electromagnetic phase switching device (全固体不揮発性導電率-磁性スイッチングデバイス)」	
	青柳 佑佳 ¹⁾ 、日比 輝正 ²⁾ 、根本 知己 ³⁾ 1)生命人間情報科学専攻 先端生命機能工学講座 脳機能工学研究室 D2、2)同専攻助教 (発表時)、3)同専攻教授 「3D-visualization of SVZ-derived immature neurons in postnatal mouse brain for the elucidation of migratory behavior (生後マウス脳におけるSVZ発生未成熟ニューロンの移動様式の解明のための3次元可視化)」	
	2015年11月14日	青柳 佑佳 ¹⁾ 、日比 輝正 ²⁾ 、根本 知己 ³⁾
	1)生命人間情報科学専攻 先端生命機能工学講座 脳機能工学研究室 D2、2)同専攻助教 (発表時)、3)同専攻教授 第11回成体脳のニューロン新生懇談会 Abcam賞「生後マウス脳における新生ニューロンの移動様式の解明に向けた観察法の確立」	
2015年11月17日	以下の賞を2名が受賞	
公益社団法人応用物理学会 第39回 (2015年秋季)		
応用 物理学会 講演奨励賞	樋浦 諭志 情報エレクトロニクス専攻 先端エレクトロニクス講座 ナノエレクトロニクス研究室 D2 「STM/STSによる水素吸着Fe ₃ O ₄ (001) 薄膜表面の局所電子状態測定」	
	小平 竜太郎 情報エレクトロニクス専攻 量子情報エレクトロニクス講座 量子結晶フォトニクス研究室 M2 「MnAs/InAsダブルヘテロ接合ナノワイヤの作製と評価」	
	2015年11月27日	草野 穂高
	情報エレクトロニクス専攻 集積システム講座 集積ナノシステム研究室 M1 STARCフォーラム2015 優秀賞「アンチエイリアシングを用いた4K/8K対応の低メモリ・高速単一画像超解像」	
2015年11月28日	クラフチック・マレック ¹⁾ 、ラファウ・ジェプカ ²⁾ 、荒木 健治 ³⁾	
1)メディアネットワーク専攻 情報メディア学講座 言語メディア学研究室 D2、2)同専攻助教、3)同専攻教授 7th Language & Technology Conference, The First Workshop on Processing Emotions, Decisions and Opinions (EDO 2015) Best Paper Award「Exploiting Wikipedia-based Information-rich Taxonomy for Extracting Location and Creator Related Information for ConceptNet Expansion (Wikipediaの豊富なタクソノミーを用いた場所と作者に関する情報の抽出によるConceptNetの拡張)」		

2015年12月9日	季 承成 ¹⁾ 、栗原 正仁 ²⁾
1)情報科学研究科 情報理工学専攻 複合情報工学講座 知能ソフトウェア研究室 D2、2)同専攻教授 International Association of Engineers (IAENG) Best Student Paper Award of International Conference on Computer Science and Applications 2015「A New Implementation of Multi-Context Algebraic Inductive Theorem Prover (多重文脈に基づく代数向け帰納的定理証明器の新しい実装)」	
2015年12月11日	吉田 尚樹
情報エレクトロニクス専攻 先端エレクトロニクス講座 ナノエレクトロニクス研究室 M1 公益社団法人応用物理学会 23rd International Colloquium on Scanning Probe Microscopy 優秀ポスター賞「Study for the measurement of interaction force by means of FM-AFM (FM-AFMを用いた相互作用力の測定に関する研究)」	
2016年1月8日	李 雪霏 ¹⁾ 、姜 錫 ²⁾ 、坂本 雄児 ³⁾
1)メディアネットワーク専攻 情報メディア学講座 メディア創生学研究室 M2、2)同専攻助教、3)同専攻教授 International Workshop on Advanced Image Technology 2016 Best Paper Award「A partial Scrambling Technique with Adjustable Degradation Degrees Embedding Different Types of Contents (異種コンテンツを埋め込む劣化度合いを調節可能とする半開示スクランブル手法)」	
2016年1月25日	宮川 拓望 ¹⁾ 、山本 眞史 ²⁾ 、植村 哲也 ³⁾ (他2名)
1)情報エレクトロニクス専攻 先端エレクトロニクス講座 ナノ電子デバイス学研究室 M2、2)同専攻特任教授、3)同専攻准教授 公益社団法人応用物理学会 物理系学術誌刊行センター APEX編集部 Spotlights論文「Efficient gate control of spin-valve signals and Hanle signals in GaAs channel with p-i-n junction-type back-gate structure (p-i-n接合型バックゲート構造を有するGaAsチャネルにおけるスピバルブ信号)」	

※職名・学年・所属は受賞時

新教員紹介

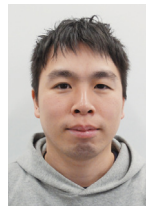
1. 最終学歴および学位、2. 前職、3. 専門分野



折川 幸司 助教

システム情報科学専攻 システム融合学講座

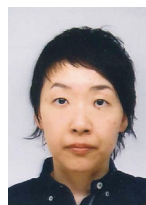
1. 平成25年長岡技術科学大学大学院博士後期課程修了、博士(工学)
2. 長岡技術科学大学工学研究科産学官連携研究員
3. パワーエレクトロニクス



石畠 正和 特任助教

情報理工学専攻 知識ソフトウェア科学講座

1. 平成25年東京工業大学大学院博士後期課程修了、博士(工学)
2. NTTコミュニケーション科学基礎研究所(在籍出向)
3. 人工知能、統計的機械学習



石川 志保 特任助教

システム情報科学専攻 システム融合学講座

1. 平成16年酪農学園大学大学院修士課程修了、博士(農学)
2. 北電総合設計株式会社 技師
3. バイオガス発電、廃棄物系バイオマス

IST NEWS No.45 平成28年5月31日発行

発行：北海道大学大学院情報科学研究科 広報・情報室
(編集担当：竹本 真紹・工藤 信樹・久保 吉史・大塚 尚広)



情報科学研究科ホームページ

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/>

